

21年度決算を認定

平成21年度取手市一般会計決算を審査するため、「決算審査特別委員会」を設置しました。

その他、特別会計は、各常任委員会にて審査しました。

会計名	歳入総額	歳出総額	議決結果	歳出の主な内容
一 般	370億 990万円	361億 8,332万円	認定	公共施設耐震診断調査、小中学校耐震補強、雨水排水対策、下高井近隣公園整備、都市計画道路3・2・40号線及び3・4・3号線整備事業など
取手駅西口都市整備事業特別	4億 8,609万円	4億 7,284万円	〃	取手駅北土地地区画整理事業など
用地先行取得事業特別	7,687万円	7,687万円	〃	文化芸術施設整備事業、取手駅東口多目的広場整備事業などの債務の償還金
国民健康保険事業特別	113億 4,524万円	113億 8,244万円	〃	医療費適正化対策、療養費、高額療養費、出産育児一時金、特定健康診査業務、人間・肺・脳ドック補助金など
老人保健特別	3,134万円	3,019万円	〃	医療費など
後期高齢者医療特別	14億 4,722万円	14億 3,505万円	〃	後期高齢者医療連合への納付金など
介護保険特別	47億 2,104万円	46億 7,019万円	〃	介護認定調査費、介護サービス・居宅介護福祉用具購入・住宅改修給付費など
介護サービス特別	1,236万円	1,101万円	〃	ケアプラン作成委託など
競輪事業特別	12億 8,623万円	12億 5,690万円	〃	競輪開催及び場外車券発売事業
公平委員会特別	93万円	51万円	〃	委員報酬、全国等連合会への負担金など

決算審査特別委員会を設置

委員長 結城 繁
副委員長 山野井 隆
委員 貫井 徹、林 京・遠山智恵子・佐藤 清・平 由子・中村 修・佐藤 隆治・入江洋一・染谷和博・金澤克仁

討論

林議員：市の政策は、学校、保育所の統廃合や宮和田消防署統廃合と、悪シヨンプランに基づいた市民いじめの効率一辺倒で、認められない。一般会計決算に反対。
入江議員：職員削減の前倒しや市長はじめ職員の期末手当減額など、人件費抑制を図りつつ、永山中、戸頭中体育館の耐震補強や雨水排水対策など、安全安心なまちづくりを図ったものであり、一般会計決算に賛成。
加増議員：東急ビルを空けたままで、駅北地区開発を進めることは納得できない。西口特別会計決算に反対。
また、無目的の取手駅西口の県学生寮跡地などの土地購入は、後世にツケを残すもの。用地先行決算に反対。
さらに、競輪事業は、赤字になる前に計画的廃止すべき。競輪会計決算に反対。

貫井議員：支払遅延が再び発覚した執行部に猛省を求め、日中緊迫は取手市財政にも影響を与える。健全財政運営のため複式簿記の公会計制度導入と行財政改革推進を訴え、一般会計決算に賛成。

また、市の高齢化率は24%に達した。老々介護等から痛ましい事件も全国で発生。地域包括ケアのより推進のため、介護保険・介護サービス決算に賛成。
結城議員：市長は、政策転換が可能であった常総広域ごみ処理施設建設事業を転換せず負担増額を進めるなど、市民の理解は得られない。一般会計決算に反対。

また、市長は、必要だといい続けた取手駅自由通路を凍結し、国からのお金を返還した。中心市街地衰退に拍車をかけ、使命放棄の決断。駅西口決算に反対。

平議員：少数派の横暴により当市の意思決定能力が鈍らないよう、有用かつ強力な財政再建をすべく一般会計決算に賛成。

小泉議員：日本一高いと言われる常総広域ごみ処理施設建設費及び非常に高額な管理運営費を認めるわけにはいかない。違約金を払ってでも機種変更すべきであり、一般会計決算に反対。
遠山議員：国保税を値下げし、払える額にして、安心して医療にかかれる制度にすべき。国保決算に反対。
また、高齢者の医療費無料化を復活し、安心して暮らせる制度に改めるべき。後期高齢者決算に反対。

さらに、介護保険料の限度額が引き上げられたこと、認定のための調査と仕組みが変えられ、認定の軽度化も認めない。介護保険・介護サービス決算に反対。

8/6 臨時会を開催



●市立永山小学校校舎改築工事（建築工事）請負契約の締結…可決

- ・契約金額 6億6,874万5,000円
- ・契約の相手方 浅沼・平沢特定建設工事共同企業体
- ・契約方法 一般競争入札

〔討論〕

入江議員…学校耐震化の推進が、地域や社会全体にとっての安全安心なまちづくりへ資するものと認識している。賛成。

齋藤（久）議員…厳しい財政状況のもと、児童生徒や保護者の要望にこたえるものであり、賛成。

細谷議員…予定価格の60%台という低価格の入札で、市長が進めてきた入札改革が花開き、談合のないまち、談合を許さないまちとなった。賛成。

平議員…今回の入札は、騒ぎがない。賛成。